E104
世田谷区 梅丘
2-15-11
菊屋吉子

1

前略ごめんなさい。
もっと早くお手紙書かなくてはなりませんでした。二人共遅くまでもいそがしくて、お礼のはがき書くのもおそくなりました。
十月十日はあの十年めの記念日で
器官支部のほうもかなり盛かでした。
河野さんのお話はいつものことながら
感銘深くうかがいました。

2

同じく、何かお約束をお出しする筈だったのでありましたけれども、どうしても身体が
立ち直らず、お礼状をかくことができませんでした。
疲れのもとは、あとから同じものを送りましたから、
たぶん味噌漬けでしょう。人に送ってもらうのは
やっぱりみんなで味噌漬けにしてもらうのが
いちばんいいようなお約束でございます。

3

秋彼岸ですね。北海道はもう雪降りだそうですね。
無理をしないでいらっしゃいますように。
物騒な世の人達ばかりですね。
そんなこんなで、家人がありがたく合掌
お礼をいうことでございます。
新聞を拝見しました。（千代田会館のこと）
やっぱりあの見物も楽しかったでしょうね。

4

ありがとうございました。
もう一度拝見させて頂くのを楽しみに
小説を書いていらっしゃる
一昨年ちょうど。
あの手紙を頂きました。
とても感銘深くおぼえました。もう一度
お会いしたいと思うのは一緒でございます。

5

ありがとうございました。
でも、お作品の数をやっぱり再読する
ことで、充実をお会いするのに、それが
なかなか難しいのです。
年内にぜ、来年の初めの頃で
御挨拶に伺えないと思います。ご
お礼の手紙を良くしたいと思います。

6

四日から旅行で北海道へ行くようになりますので、
お目にかかれないかもしれません。
御健康お祈りいたします。
これで紙がなくなりました。
奥様もお元気でいらっしゃいますように。
ふうは、ようやくおちついてきました。
寒くなりましたから、
お体をいたわりなさいませ。
お礼状遅くなりました。
菊屋